

ハクウンボク

Styrax obassia Sieb. et Zucc.

エゴノキ科
Styracaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では崩落しやすい谷沿いに生育し、個体数は多くない。生育地がスギ植林の適地にあるため、植林による生育地の消滅が懸念される。

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、大分川・大野川丘陵地、祖母・傾山地

分布域 北海道 本州 四国 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島 中国・中国(東北部)

生育環境 低山地の渓谷沿い林内や林縁。

現 状 以前、確認された生育地で、植林されて消滅した所がある。

ナタオレノキ

Osmanthus insularis Koidzumi

モクセイ科
Oleaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では暖地の海岸林に希にみられる。個体数は極めて少ない。少数の個体が道路沿いに生育しており、道路整備や拡張などで絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州(福井県以西 八丈島) 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
韓国(巨文島) 台湾

生育環境 海岸近くの林縁。

現 状 生育地は道路沿いの林縁で、多くの危険要因をかかえている。

ミツガシワ

Menyanthes trifoliata L.

リンドウ科
Gentianaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 極地周辺に広く分布し、西南日本では点在する。県内での生育地は極めて希で、個体数も少ない。もともと貧栄養の池沼に生育するが、上辺から流入する水量の減少、あるいは富栄養水の流入などにより生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 玖珠丘陵地・山地、九重火山群

分布域 北海道 本州 九州(佐賀・大分)
北半球寒地一帯

生育環境 丘陵地の湿原。

現 状 いずれの生育地も年々環境が悪化しており、早急な対応が必要である。

備 考 熊本県の生育地が明治後期に消滅し、本県の生育地は南限地。県指定天然記念物「野平のミツガシワ自生地」(玖珠町)。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう、耶馬日田英彦山、日豊海岸]。